

1. フードスライサー・ミキサー



電動スライサーが
回転している時は **危険!**

電動刃は止まったの?

触る時は電源コンセントのプラグコードが
抜かれていることを確認!

手指の保護の為に切創防止手袋を使用しましょう

✕ 危険な行為とその結果

- ★従事者にスライサーの取り扱い教育をしないで作業させたことで手を切った。
- ★従事者のスライサーへの慣れと早く終わらせたい為、危険と知っていたが回転している刃に手を入れてしまい、切った。
- ★安全器具（押し込み棒）を使わず、手指で押し込み手を切った。
- ★早く作業を終わらせたく、食材を無理に押し込んだら食材片が詰まってしまった為、そのまま手元スイッチを切らずに、指で取り除こうとして指を落とした。
- ★安全装置のカバーを使用しないで、刃を回転させながら清掃作業を行い、指を落とした。
- ★手元スイッチは切ったが、プラグコードを抜かずに清掃を行っている最中に手がスイッチに触れ作動し、指先を削ぎ落としたので縫い合わせた。

◎ 正しい作業

スライサーやミキサーの取り扱い教育を受けていない従事者は重大な事故に繋がります。必ず最初に取り扱い方法を理解させ、マニュアルどおり操作して下さい。
尚、スライサーやミキサーを取り扱う従事者は研修を行い、研修終了後、各自が教育研修受講記録カードに記載して下さい。

- ★始業点検
 - ・コンセントにプラグコードを差し込む前に安全装置のケースカバーなどが正しく取り付けられているかを確認して下さい。
 - ・着脱カバーを使い、刃が正しく取り付けられているかを確認して下さい。
- ★作業中の取り扱い
 - ・手元スイッチを入れます。
 - ・食材を投入口に入れる時、安全器具（押し蓋・押し込み棒など）を使い作業して下さい。
 - ・食材が詰まった時は、手元スイッチを切り、プラグコードを抜き、刃の回転が止まったことを確認し、食材片を取り除いて下さい。
- ★作業終了及び清掃方法
 - ・最初に手元スイッチを切り、プラグコードを抜いて下さい。
 - ・着脱カバーを使い刃を外し、刃から清掃して所定の場所に保管して下さい。
 - ・本体の清掃に取り掛かります。
食材片が残らぬよう丁寧な洗浄殺菌を行って下さい。

※電動スライサーは指を切る事故が多い為、手元スイッチとプラグコードを必ず抜いて下さい。

※ミキサー・ロボクーブ・プロセッサ等についても同様に指を切る事故が多い為、手元スイッチとプラグコードを抜いて下さい。

2. 包丁・ベンリナー



手指の保護の為に切創防止手袋を使用しましょう

✕ 危険な行為とその結果

- ★指先を丸めずに切り込み作業し、指先を削いでしまった。
- ★シンクコーナー（四隅）に俎板を置いて切り込み中、俎板がずれて手を切った。
- ★硬い食材を力まかせに切った時、包丁が斜めに入り手を切った。
- ★ベンリナーで小さくなった食材を無理に切っている最中に指先の爪を削いだ。
- ★パッキングされた食材を、片手で持ち上げ包丁で切った為、刃が滑り手を切った。

◎ 正しい作業

包丁を取り扱う時は、落ち着いて行って下さい。

- ★切り込み作業をする時は、包丁の刃に対し指先を丸めて爪を出さないようにして下さい。
 - ★俎板を安定させ、食材と刃は直角にして切して下さい。
 - ★カボチャなど硬い食材を切る際は、刃がぐらつかぬよう特に注意を払って下さい。
丸のままのカボチャは、スチコンで10分程度、スチームモードで表面を柔らかくすると切りやすくなります。
 - ★ベンリナーで作業をする際、小さくなった食材は、専用安全器具で切るようにして下さい。
 - ★パッキングされた食材は、包丁で切らず、ハサミで切るようにして下さい。
- ※包丁は、慌てたり焦ったりして作業すると危険です。時間にゆとりを持って作業して下さい。
- ※包丁作業者の後ろを通るときは、必ず声を掛けて下さい。
声を掛けられた人は返事をしましょう。

5. フ라이어



やけど防止の為に適宜、腕カバーを使用しましょう

✕ 危険な行為とその結果

- ★解け始めた冷凍品を投入した時、油が飛び跳ね、手・顔にヤケドした。
- ★フライヤー周辺の床に油が跳ね、ベタついた床に足を取られ転倒して打撲、骨折した。
- ★床に油が跳ねないように、新聞紙や、ダンボールを敷いていた為、踏いて、フライヤーに手を付いてヤケドした。
- ★清掃する為、油を抜き取った際、こぼれた油で足を滑らし転倒して骨折した。
- ★天ぷらなど揚げた後、揚げかすを放置して発煙した。

◎ 正しい作業

- ★揚げ物作業で水気の多い食材は、水気をよく拭き取り投入して下さい。又、一度に揚げる量は、フライヤーの大きさと油の量、火力などを考え、適量を投入して下さい。
- ★転倒防止の為、床に油の飛沫や油をこぼしたまま作業をしないで、その都度拭き取って下さい。
- ★新聞紙や段ボールなどを床に敷くと滑ったり、踏いたり思わぬ怪我に繋がる為、床に敷かないで下さい。
- ※揚げ物担当者よりもフライヤー周辺を通る者が転倒する危険性が高い。
- ★廃油は専用容器に入れ蓋をし、専用置場に保管して下さい。
- ★揚げかすは、水に漬けて生ゴミとして処分して下さい。
- ※繰り返し点火を行っても点かない時はパイロットバーナーに異常がある為、責任者に報告して下さい。又、専門業者による補修が必要である為、クライアントに依頼し対処して下さい。

労災防止シール(5種類) 活用方法

- ⑥  **開閉はゆっくりと!**
扉の向こうに誰がいる!

扉の向こう側に誰がいる! かもしれません
最初に少し開けて確認しましょう
* ドアノブ近くに
- ⑦  **開けたら閉める**

作業台の引き出しやスライドドアは開けたら
必ず閉めましょう
* 取っ手近くや扉に
- ⑧  **開放厳禁**

扉の開けっ放しはやめましょう。挟まり・追突の
原因や、虫等の侵入の経路になります
* 取っ手近くや目に付く場所に
- ⑨  **転倒注意**

ドライの床にし難い場所、すべり易い床には
注意をしましょう
* 壁(目線の高さ)に貼る等、視界に入るように
- ⑩  **段差注意**

少しの段差でもつまづいて骨折することがあり
ます
* 段差がある場所に

注意喚起シールの活用方法 使用例

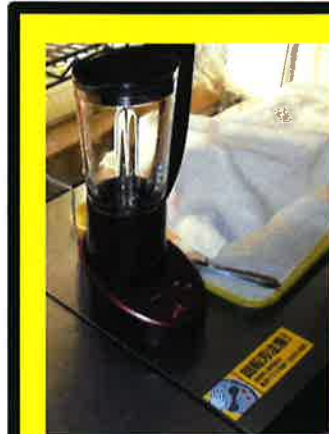
注意喚起シール

危険の可能性のある場所に「注意喚起シール」を貼付する。

※印刷物オンラインより入手可能です。



サイズ
横 184mm
縦 55mm



ミキサー等を使用する場所、電動スライサー本体の目に付く個所に貼りましょう
回転が完全に止まっていることを必ず、確認しましょう

清掃洗浄する時は、必ず電源プラグを抜きましょう



食器出口に貼りました



ベルト近くの目に付く場所に貼りました



ガス・電気・蒸気等、熱くなる機器に貼りました

安全衛生 推奨品リスト

| 商品名 | A2000 マイティアームカバー | 超耐滑軽量ハイグリップNHS-700 | すくい棒 大 | カットガードW102 |
|-----------------|---|---|--|--|
| カラーリング | ベージュ | 黒・白 | | ブルー(袖口:S白、M緑、Lグレー) |
| サイズ | 長さ40cm | 22.0~29.0cm | 柄:120cm すくい部:18cm×20cm | S、M、L |
| メンテナンス方法 | 手洗い推奨。 洗濯機低速回転可。 | ブラッシング | 洗浄後、吊下げ保管 | 次亜消毒 |
| 安全衛生ポイント | <ul style="list-style-type: none"> ・フライヤー作業での油撥ね対策 ・炊飯器(3段)上段からの取出し作業等(袖が短い・袖まくり) | <p>耐滑区分:5レベル(滑りにくさ、最高評価)</p> <p>甲革の耐加水分解性:良 表底の耐油性:良</p> <p>転倒による労災防止 靴底でスリップサイン確認</p> | <p>すくい部は四角の為、コーナー部分すくえる、水切り穴あり</p> <p>ひざつき作業解消 使用後は洗浄し、専用庫に保管、または吊りさげ保管</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ベンリナー、包丁使用時、回転刃の洗浄、空き缶作業等で使用複数用意し小まめに消毒しましょう |
| その他特徴 | 特殊ポリウレタン加工。驚異的な軽さと強さ、優れた防汚性を実現しました。耐熱温度180℃まで | <p>スリップサイン入り</p> <p>甲革:海外製 人工皮革(ウレタン系)</p> <p>中敷:合成繊維+EVAスポンジ全敷</p> <p>表底:EVAスポンジ/合成ゴム耐油二層</p> | <p>重さ:0.8kg</p> <p>柄:アルミ</p> <p>グリップ:PVC</p> <p>すくい部:ステンレス</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・金属糸を使用することで耐切創強度がアップ・長繊維を使用している為、手袋からの埃やケバ立ちを抑える・裾部分にはオーバーロック加工を施している為ほつれにくい・CE規格:カットレベル5 |
| 使用期限の目安 | 半年~1年※使用環境による | スリップサインまで擦り減ったら | すくい部分の穴あき | ほつれを発見したら |
| 外観 | <p>A2000-3 ベージュ</p> | | | |